

親和図(新QC7つ道具)

手順1 テーマ(目的)を決める

手順2 言語データを挙げ、カード化する

テーマに関して、“見た””聞いた””感じた””考えた””調べた”ことについて簡単な言語データにまとめ、カードに記入する

手順3 言語カードをまとめる: このカードを数多く集める

手順4 親和カードを作る: なんとなく似ている感じがするカードを2~3挟み付け、これを1つのグループにする

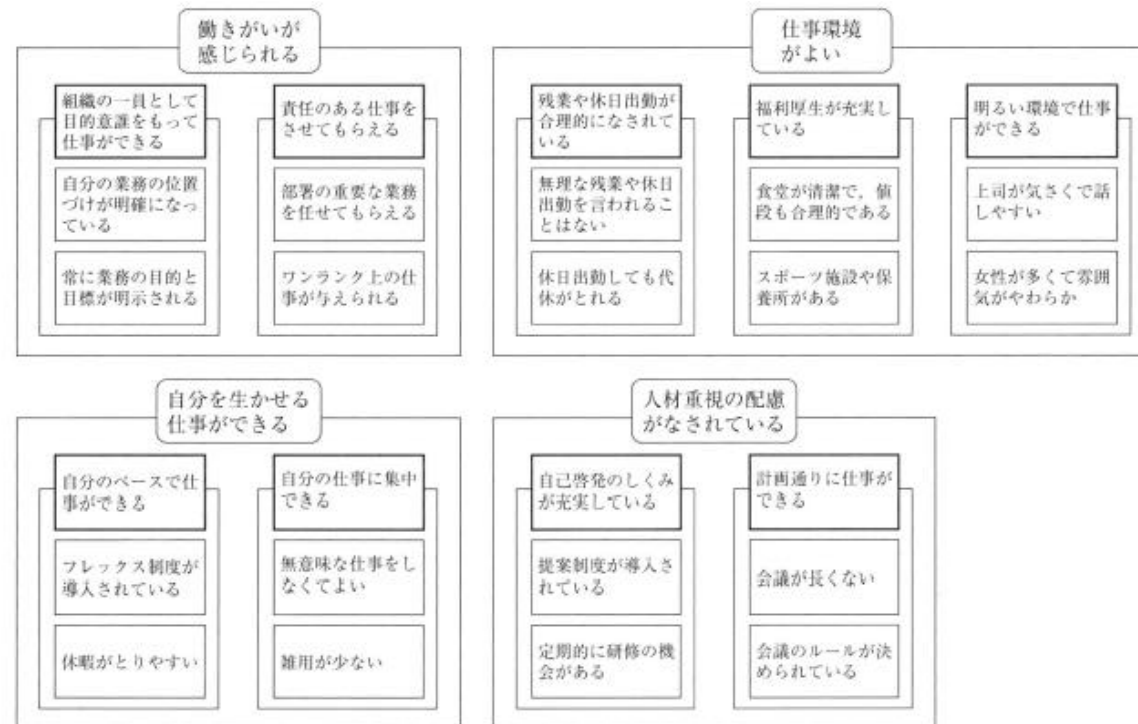
手順5 グループにした2~3枚にカードの意味をよく考えて、1つの簡単な言語にまとめ、1枚のカードに書く

手順6 親和図を作成する:

親和カードを1枚の言語カードとして扱い、手順4、手順5を繰返し、グループを4~6つくらいにまとめる

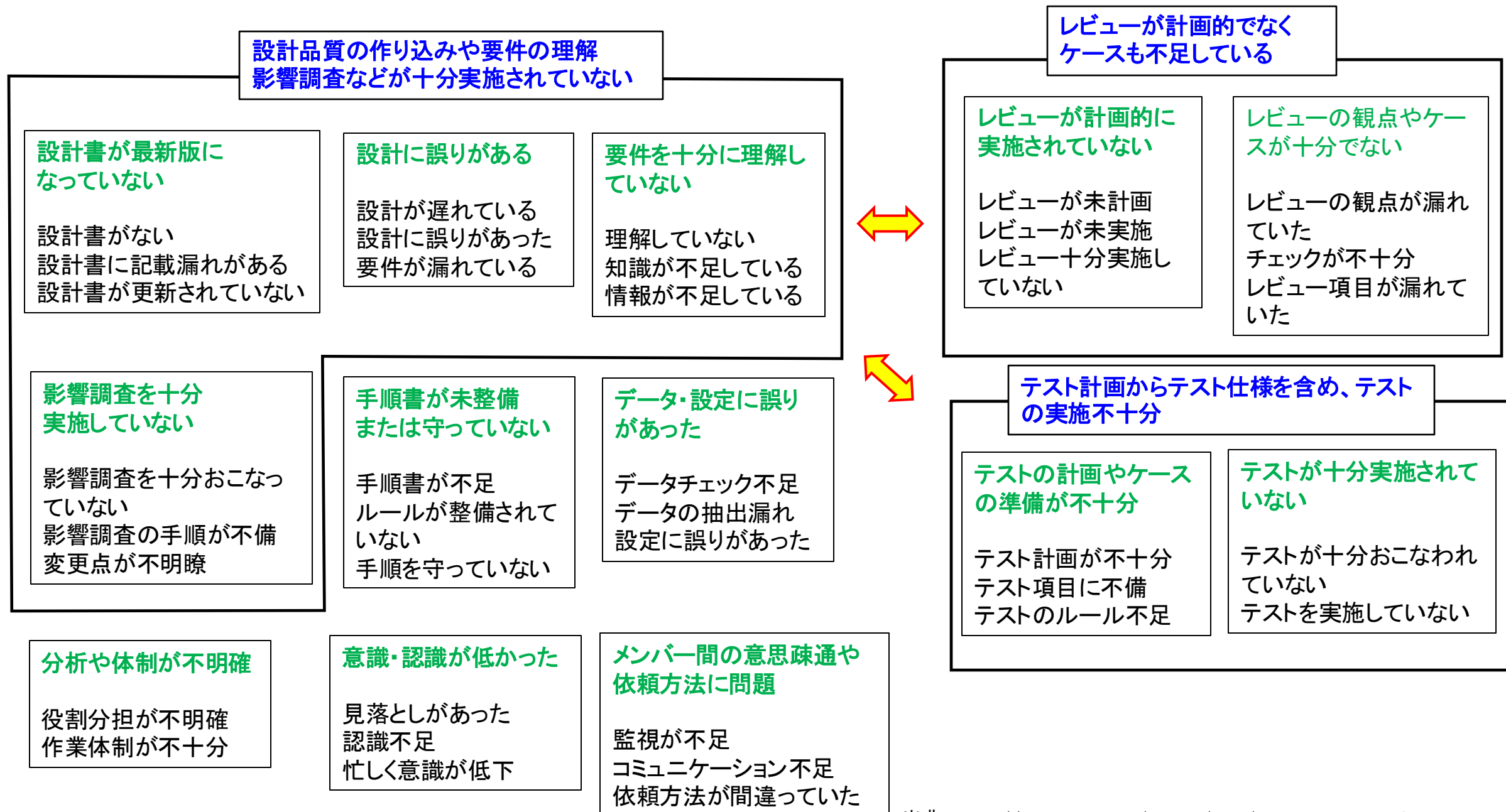
手順7 情報を文章化する

手順8 活用方法を決める



私の職場のよいところ





何しろ最初が肝心である

QCサークルとは
どういうものか
十分理解させる

QCサークルに関
する機関誌発行

進め方マニュアル

QCサークルとは
慈善活動だけで
はないんだ

まずムードづくり
が必要

はじめは難しいことを
言わずにやってみる

プロセスを大切にし、
成果にこだわらない

成果よりプロセスを
大切にする

成果にこだわらないこと

QCという言葉にこだ
わらず、いきなりQC
手法を導入しない

QCという言葉にこだ
わらない

QC手法をいきなり
導入しないこと

参画し創造する喜びを味わう

目標を立て、達成する
喜びを味わう

取り組みやすい
テーマを選び
可能な目標設定

誰でも取り組み
易いテーマ設定

達成可能な目標
にする

目標をはっきりさせ、
どれだけ達成したか
明確に把握する

目標、目的を
はっきりさせる

どの程度
目標を達成したか
知りたい

活動を金額で評価

時には
KJ法を使う

自主性を身に着けの
連携の精神を持つ

人に頼らず自主
性を身に着ける

サークルメンバー
は、つねに
連携の精神を持つ

自分たちの仕事
の内容を把握

作業内容の研究

他部門との関連
性を把握する

サークルの中で
決定したことは
必ず標準化もし
くは実行する

能力的に異質なメンバーを選
び、リーダーを交替制にする

能力的異質
なメンバーを
選ぶ

リーダーは
固定せず
交替制にする

全社的な協力関係がQCサークル活動を大きく育てる

経営者や上司は、QCサークル
活動を組織的に育成する

話しやすい働き
がいのある職
場をつくる

話しやすい働きが
いのある職場をつくる

環境整備
働きがいのある
職場にするために

経営者や上司は、理解ある○
○を気長に見守る

経営者が気長に
見守る

表彰制度の活用

上司の理解

なるべく
勤務時間内
で行う

優れたリーダーと優れた
スタッフの協力が必要

リーダーとスタッフの人間関係が一方的でなく
うまいくこと

リーダーとスタッフの関
係が一方的になっては
ダメだ

リーダーとスタッフの人間関係がうまいくこと

リーダーのやる気と
スタッフの持ってい
き方

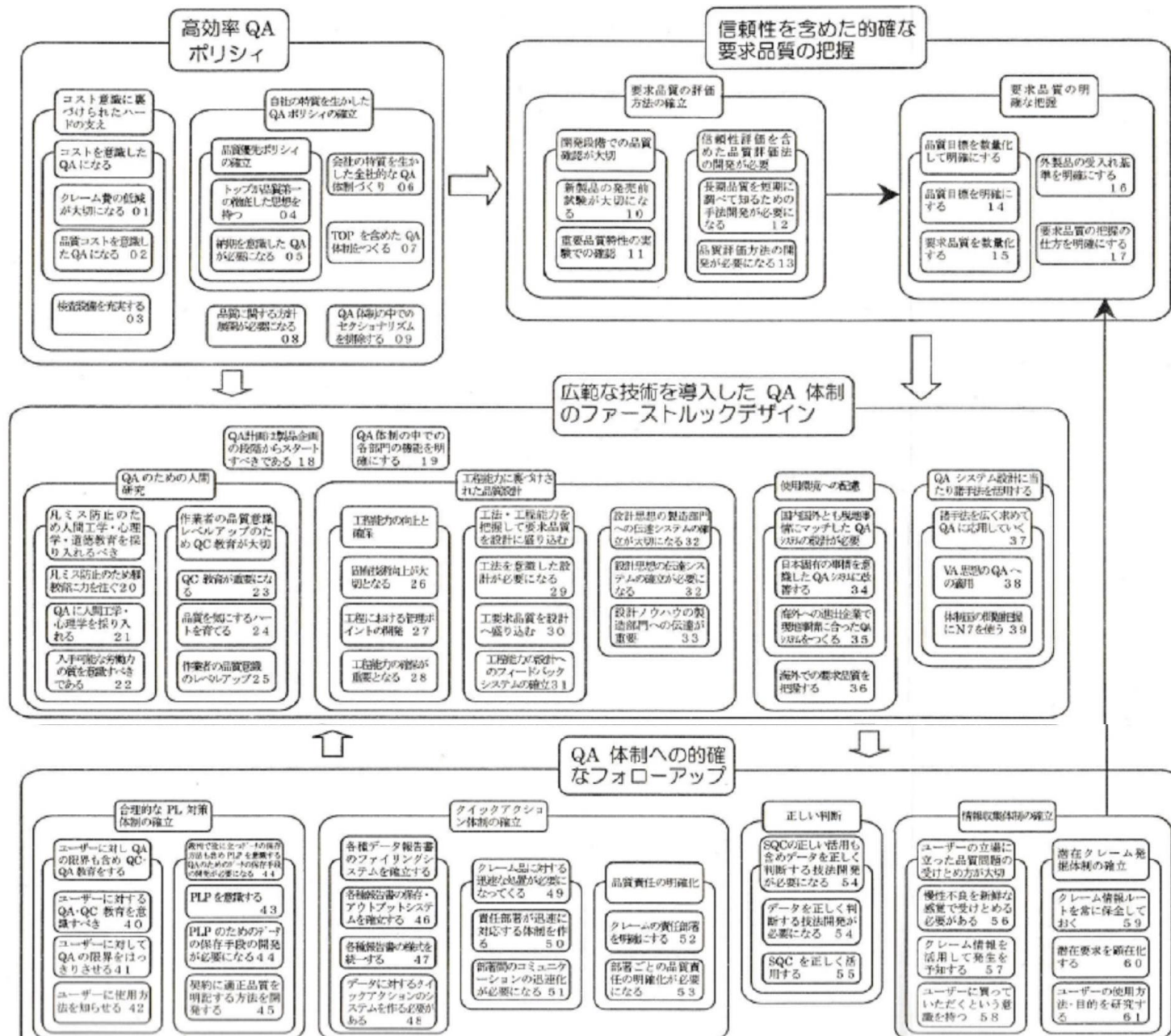
リーダーの技術向上

スタッフを
大いに鼓舞せよ

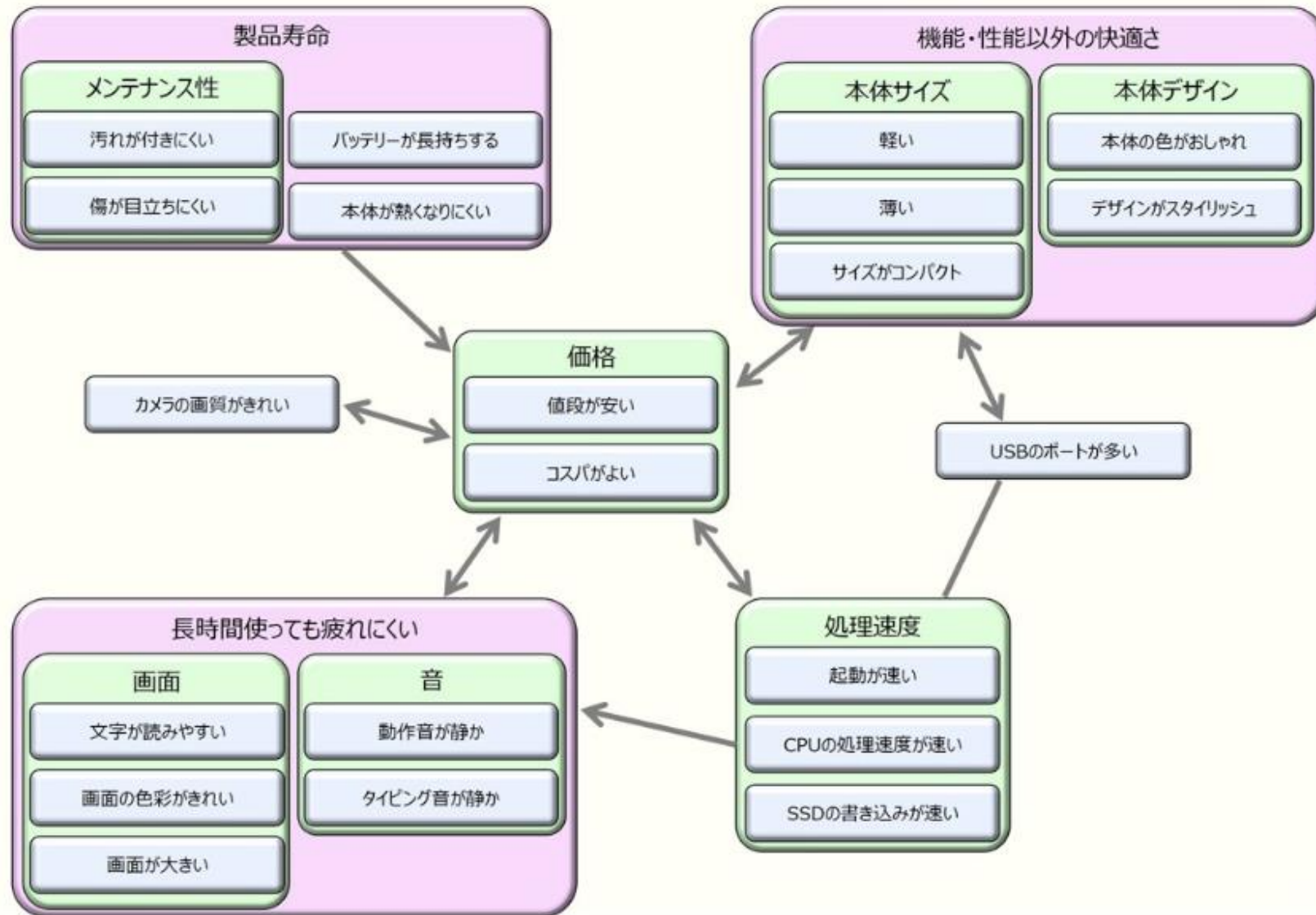
他のサークルと交流し
必要があれば合同で活動する

他のQCサークルと交流する

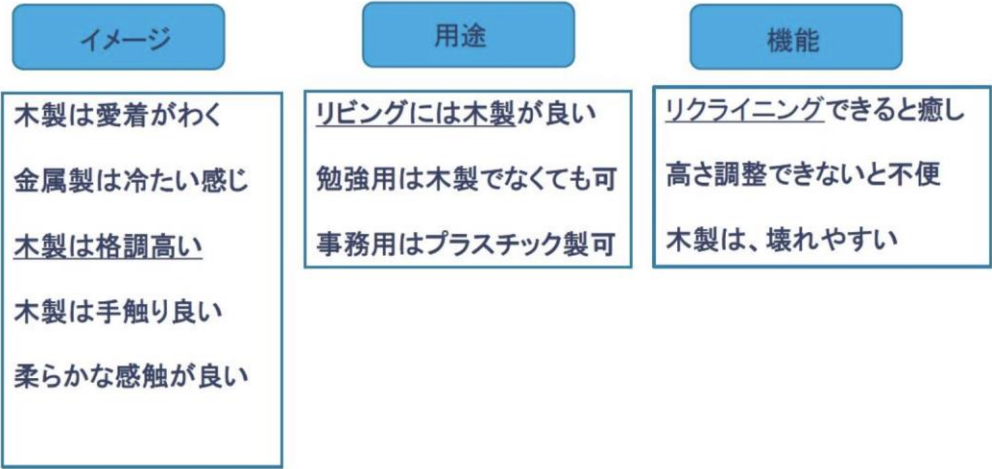
必要があれば他のサークルと
合同で活動する



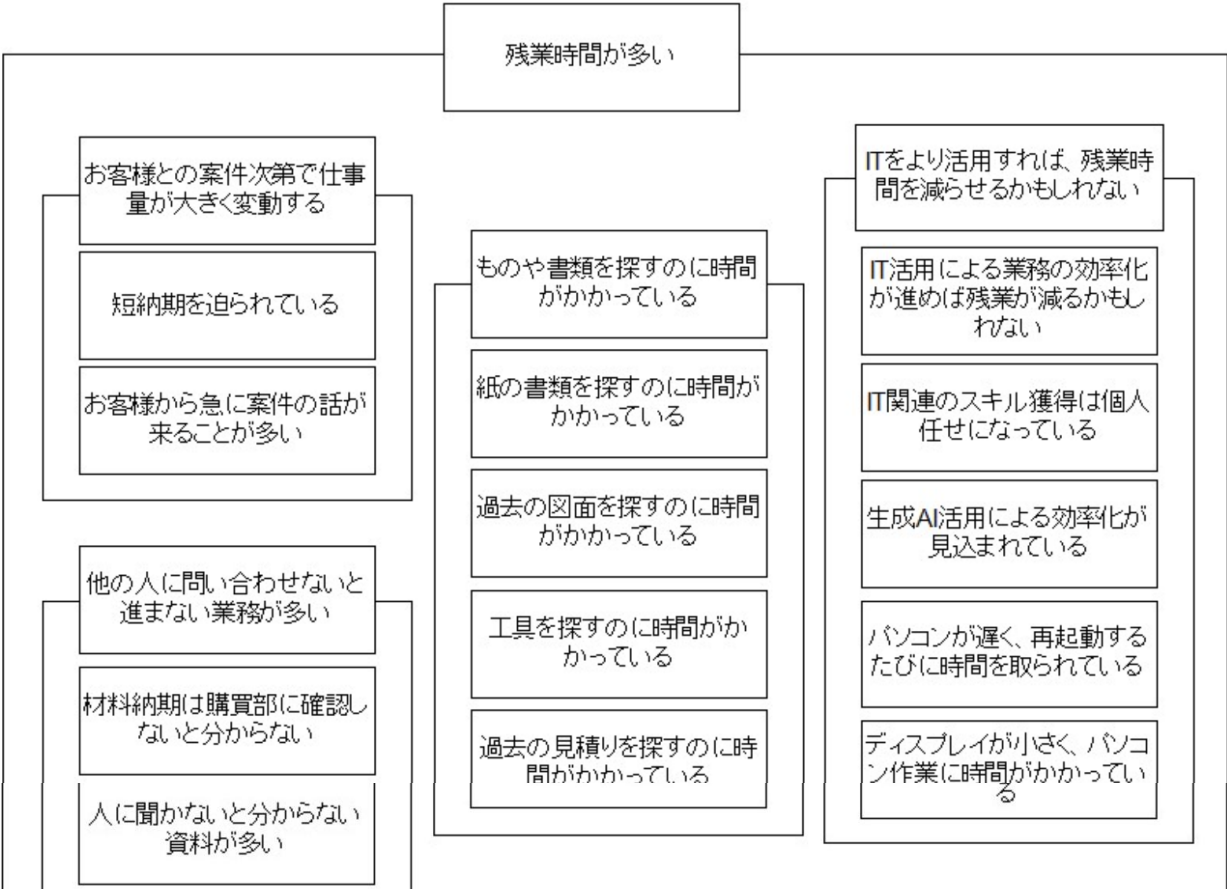
ノートPCを選ぶときに重視することは



リビング用椅子



出典: https://engineer-education.com/new-qc-7tools_affinity-diagram/



出典: <https://zumen-bank.com/column/1128>

